

平理事長学習会のお知らせ

なんでダメなの?
日米安保、オスプレイ、
消費税増税

日時/11月19日(月)
13:30~15:30
会場/もちずり学習センター
2F講義室
講師/平 範男理事長
主催/理事会社保委員会

ふくしま



発行所
福島医療生協

医療生協

2012年11月号 第342号
発行責任者 渡辺 幸夫
<http://www.fmc.u-coop.or.jp>

福島医療生活協同組合 TEL 024-522-1236
医療生協わたり病院 TEL 024-521-2056
生協いいの診療所 TEL 024-562-4120
医療生協わたり病院附属
ふれあいクリニックさくらみず TEL 024-559-2664

〒960-8141 福島市渡利字中江町66番地
〒960-8141 福島市渡利字中江町34番地
〒960-1301 福島市飯野町字後川27-2
〒960-0241 福島市笹谷字釜谷地20-1

秋空のもと、信夫の里で 民医連主催 2大行事

アピール ~We Run for Peace!~

ピースリレーマラソン福島大活躍!

ピーチャリ2012 in 福島 大成功!

原発、 いらない!



福島Aチームは5位入賞! Bチームも19位と大健闘

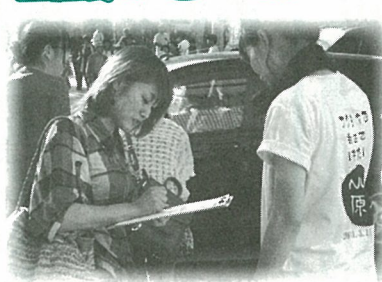


元気いっぱい、さあ走るぞ!



全国の支援に感謝をこめて、
福島の梨をプレゼント

街頭アピール



30分間で署名154筆集めました



組合員さんの出迎え
(さくらみず)

九月三十日、民医連に加盟する県内の医療生協とわたり福祉会の職員と組合員が、自転車での平和を訴えるピースチャリンコを行いました。今年で二回目を迎えるこの催しは約百名が参加し、わたり病院↓はなしのぶ↓はなひらの↓さくらみず↓福島駅東口↓わたり病院の約四十キロのコースを、飾り付けをした自転車と、そのいのTシャツ・マフラー・タオル姿で走りました。各施設では、職員や組合員が出迎え、福島駅東口では「安心して住める福島を取り戻す署名」に取組みました。

十月十四日に
は民医連
ピース
リレーマ

九月三十日、民医連に加盟する県内の医療生協とわたり福祉会の職員と組合員が、自転車での平和を訴えるピースチャリンコを行いました。今年で二回目を迎えるこの催しは約百名が参加し、わたり病院↓はなしのぶ↓はなひらの↓さくらみず↓福島駅東口↓わたり病院の約四十キロのコースを、飾り付けをした自転車と、そのいのTシャツ・マフラー・タオル姿で走りました。各施設では、職員や組合員が出迎え、福島駅東口では「安心して住める福島を取り戻す署名」に取組みました。

●班会のような
骨密度や骨粗鬆症について学んだあと、各々の健康法や趣味の話で盛り上がりしました。健康の情報交換ができるのも班会の魅力です。また組合員でない方もお誘いし、医療生協の取り組みを知ってもらう機会になりました。員に加入していただきました。
(組織部 中嶋 清貴)

会場は友人の鈴木さんのお宅です。最初の班会テーマは「骨粗鬆症について、骨密度測定」でした。それぞれの骨密度を測定し、骨が丈夫だった戦前生まれの方々を見習い生活習慣の見直しが必要だと実感した戦後生まれの私たちでした。
これから健康に暮らすための班会を続けていけたらと思います。
「みんなで元気に長生き!」を目指します

生協強化月間
二ユース
保原支部に
新しい班ができました
かしわ
柏班
近所の
方に声を
かけて十二
人が集ま
りました。



班長
浅野みき子さん



人が集い、組合員活動とともに地域医療に貢献する

医療生協わたり病院附属

ふれあいクリニック さくらみずの紹介



所長の北野浩二先生(前列左端)とクリニックの職員、訪問看護さくらみずステーションの職員(長野県民医連から贈られたスイカをもって)

患者さんにお伝えしながら、受診いただくようにしています。

在宅医療については、最後まで安心して自宅で暮らしたいという方々の気持ちに寄り添い、往診しています。夜間呼び出されることもしばしばですが、職員一同やりがいを持って日々奮闘しています。

患者の身近にある 診療所を目指します

今クリニックでは、プライマリケア(身近にあつて、何でも相談のつてくれる総合的な医療)を進めるため、北野所長を中心に話し合いをしています。患者様の病状によつて、クリニックで診察し、場合によってはわたり病院等に紹介します。それがスムーズに行くように、わたり病院との連携をより深め、CT等の検査も受けやすいようにしています。

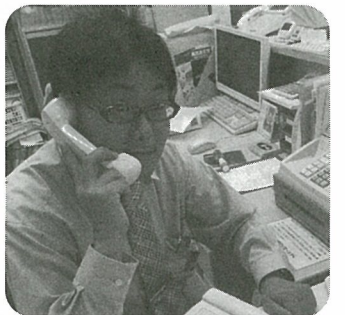
当院外来に複数医師がいることもメリットと考えています。各医師の得意分野を



コープ矢野目店での健康チェックで健康のお話をする渡辺淑子看護長

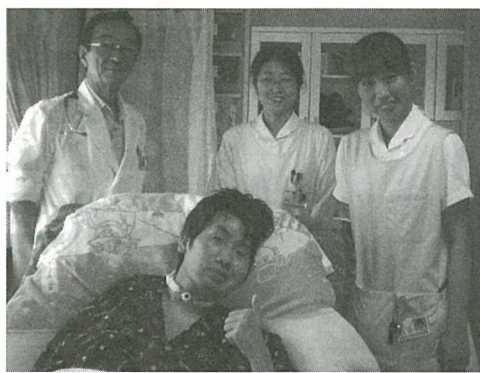
震災直後の支援と現在も 続く浪江町とのつながり

昨年の震災の際には、「こんな小さな診療所でも何かできないか」と職員と組合



医療生協わたり病院附属
ふれあいクリニックさくらみず
事務長 松崎 聡

看護師の在宅研修で二年目職員も一緒に、在宅の患者さん宅に往診した際のようす。

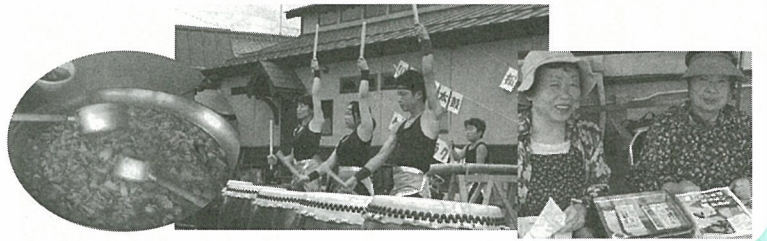


仮設お茶会で健康チェックをする
看護師の斎藤民子さん

員で活動をはじめました。十六沼公園体育館をはじめとする避難所支援にはじまり、現在は、近くにできた浪江町の仮設住宅支援を行っています。困難な中、生き抜く方々の笑顔に逆に励まされるばかりです。住民、行政と

9/29 第7回飯野・川俣健康まつり(生協いいの診療所)

川俣織姫太鼓の演奏やフラダンスが披露されました。まつりの最後はサックスの演奏にあわせ「ふるさと」を来場者全員で歌いました。診療所の中では健康チェックも行いました。



夜間に具合が悪くなってしまうたら… 安心して救急医療を受けるために

◆福島市夜間救急体制の紹介◆

医療生協わたり病院 事務長

山口 裕

福島市では患者さんが夜間安心して救急医療を受けるために、十二の医療機関が分担して体制を整え

患者さんはまず一次医療機関を受診し、そこで入院を求めた対応が必要とされた



10/10-11

日本高齢者大会 香川県高松市

達北ブロック理事 若狭百合子 高齢者が安心して暮らすにはどうあるべきか学習を深めることができました。相野谷安孝(あいのややすたか)さんの「社会保障と税の一体改革」の講演を聞いて、自殺者や、ひとりぼっちの高齢者が増えない憲法を中心に据えた政治がなされるべきと感じました。



今回参加した阿部ツギ子理事(左)と若狭百合子理事、栗林(りつりん)公園にて。

いのち・生活・安全をまもる 日比谷野外音楽堂 10・17国民集会に全国から4000人



壇上で訴える、会津医療生協 協佐藤豊専務とわたり病院の職員

【参加者の感想から】

誰の為の政治なのでしょうか。今の政府は私たちの「いのち・生活・安全」を軽視し、東電や財界と原発再稼働をもくろみ、税制改悪にひた走っています。

私たちが声を上げ続けることは、国民の権利である生存権を守り続けるという意志表示でもありますから、これからも皆さんと継続的に参加できればと思っております。



外来医事課主任
院内社保委員会委員長
西戸 晋

組合員でよかった

～人の役に

立ちたいから、
健康を守る～



清水北支部 クモミジ班
石本 愛子さん

ボケたくなあ～い。いつまでも元気でいたいあ～い。なら日ごろから健康に気を配り、年一回健診を受けて、体を管理していかなきゃ。そう

思っていた時、町内会で知りあった高橋さんが、わたり病院の半日ドックをすすめてくれました。ラッキー！これが組合員になったきっかけです。班会でいろいろな人に会えて話を聞いたり勉強したり、楽しい企画に参加したり、何よりも人とのつながりが自身を成長させていることをうれしく思います。健康寿命75才として、あと9年余、精一杯健康を大切に少しは人の役に立っと思いながら生涯を終えれば幸せです。



仮設のみなさんへ「臉の母」の忠太郎を披露する石本さん

あなたのよかったを大募集!

【宛先】〒960-8141 福島市渡利字中江町66
福島医療生協組織部内「組合員でよかった」係まで

2012年度インフルエンザ予防接種のお知らせ (福島市・伊達市・桑折町・国見町・川俣町)

〈高齢者の助成期間〉

※65歳以上の方、障害者手帳1級に該当する60歳以上の方
福島市 平成24年12月28日まで 福島市以外は予めご確認ください。

〈高齢者の自己負担額〉

福島市 1,200円
福島市以外 1,300円

〈任意接種料金〉※上記以外の方

組合員 1回目2,625円 2回目2,100円
非組合員 1回目3,675円 2回目3,150円

◇接種回数は13歳未満の方は2回で、そのほかの方は1回です。

◇二本松市、本宮市などの接種料金は市町村により異なります。予めご確認ください。

接種予約・お問い合わせは／医療生協わたり病院 Tel 521-2056



外来医事課職員
左から清水陽子さん、渡邊学さん、
宗像冬美さん

これからは体調を崩す方が最も多くなる季節です。免疫力をつけ死亡者や重傷者をださないためにインフルエンザワクチンを受けましょう。

わたり病院も二次救急病院となっており、一か月あたり「内科・外科」(三回)「循環器科」(二回)「小児科」(九～十回)を担っています。

わたり病院も二次救急病院を担当

場合、病状に応じて二次救急病院に紹介されます。また救急本部(消防署)に直接電話した場合は、救急隊は、症状に応じて二次救急病院に救急車の搬入を依頼します。

二次救急病院は、「内科・外科」「循環器科」「小児科」「脳外科」「整形外科」の五つの診療科を分担しています。二次救急病院が交替で救急医療を行うことは、医師が夜間当番の翌日も診療にあたることもある中で、医師の負担軽減を図ることもなっています。

福島市夜間救急体制 夜間に具合が悪くなったら...

自力による受診が困難で緊急の場合には救急車を呼びましょう

まずは一次救急病院へ

一次救急

入院治療を必要とする場合や一次救急では対応が難しい場合は二次救急に紹介します。

夜間急病診療所、当番日以外の二次救急病院

夜間急病診療所
住所：福島市森合町10番地1号福祉センター1F
電話：024-525-7672

119番



救急本部(消防署)

原則、二次救急病院へ

二次救急 (病院群輪番制病院)

二次救急医療では対応できない複数の診療科にわたる場合、特に高度・専門的な処置が必要、または重篤な場合は三次救急へ紹介します。

福島市内11の医療機関が輪番で担当 5つの診療科「内科・外科」「循環器科」「小児科」「脳外科」「整形外科」

二次救急の病院
◇あづま脳神経外科病院 ◇大原医療センター ◇大原総合病院
◇済生会福島総合病院 ◇福島西部病院 ◇福島第一病院 ◇福島赤十字病院 ◇福島南循環器科病院 ◇南東北福島病院 ◇医療生協わたり病院 ◇しのぶ病院

三次救急

福島医大病院

夜間はどの病院にもすべての診療科の専門医が勤務しているわけではありません。お電話をいただいて、症状を聞き症状によっては専門医がいる病院を案内することがございます。

市民の切実な願いだった夜間の救急医療

約40年前までの福島市は夜間無医地区といわれ、急病者のたらい回しやそれによる死亡という深刻な事態が起きていました。わたり病院は、「無理をしても夜間の救急搬送患者に対応する」との方針で医師はじめ全職員が奮闘していました。当時、わたり病院の救急搬入件数の7割以上が夜間の搬入でした。今でも多くのみなさんから、「夜間急病時はわたり病院へ」といわれているのはこのためです。(その精神はそのままに...)

1974年、当生協を含む10団体で「福島市夜間診療実施をすすめる会」を結成し、市議会に対し請願運動をしました。そして翌年「夜間急病診療所」が設置されました。

現在、救急医療提供体制は整備され、福島市、医師会、救急医療機関、消防機関等が緊密に連携して夜間の救急医療を支えています。

ます。
当番日以外は医師が交代で救急対応していますが、医師の専門分野での対応となります。
りますので症状によっては他の一次医療機関への受診をお勧めしています。

組合員と地域に支えられ 十一年目を迎えました

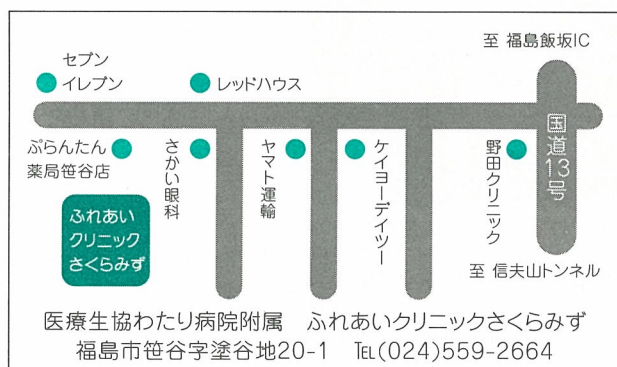
ふれあいクリニックさくらみずは、今年で開設して十一年目となります。建設運動の時から地域の組合員や近隣の方々に支えられ励まされてきました。「さくらみず運営委員会」を中心に、運営に意見をいただき、様々な楽しい企画にも取り組んでいます。先日の健康まつりも約六百名を超える方々が来られました。これは、今までの



さくらみず健康まつり(10/14)
支部対抗の玉入れ

組合員活動とクリニックの医療活動の成果です。
今後も、介護老人保健施設はなひらの、ぷらんたん、訪問看護さくらみずステーションを始め、近隣の医療機関、介護事業所等多くの方々と連携し、そこに組合

員活動を加えたネットワークで「健康で安心して暮らせるまちづくり」に取り組んでいきます。

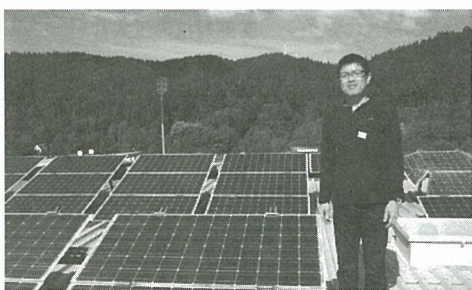


しかし、翌日に被災者の相互支援団体「ゼムリヤキ」を訪ね、改めて事故の深刻さを実感しました。大変歓迎され説明を受けましたが、「SOSプログラム」と言う重病者



「SOS」プログラム(重病者支援)の説明をするゼムリヤキのみなさん。貴重なメッセージが多くありました

なでも定期的検査を



世界初のソーラースタジアム。スタンドの屋根の上の写真。サッカー、ブンデスリーガ「FCフライブルク」(視察当時は8位と健闘中)の本拠地。チケット代にソーラーの出資分を若干上乗せしている。スタジアム入り口にはリアルタイムの発電量が電工掲示されている。

「チェルノブイリ原発事故」はイメージ出来ません。

キエフでゼムリヤキを訪問

支援の話には、時に涙を浮かべる場面もありました。

私たちに二つのメッセージ

最後に、ゼムリヤキのみなさんは私たちに言いました。

「子供たちの健康には十分注意すること」

全日本民医連 チェルノブイリ原発 ドイツ環境政策視察ツアー 参加報告 その1



放射線科科長
渡辺 進

放射線と向きあう取組み具体化のために、いいの診療所松本純医師と渡辺進放射線科長が9月22日～30日、「チェルノブイリ原発・ドイツ環境政策視察ツアー」に参加しました。ウクライナではチェルノブイリ原発を見学後、キエフで強制避難区域で暮らす被災者や研究者と交流しました。ドイツでは長期にわたる原発反対運動と風力発電など自然エネルギーと環境重視のまちづくりの実績を視察しました。

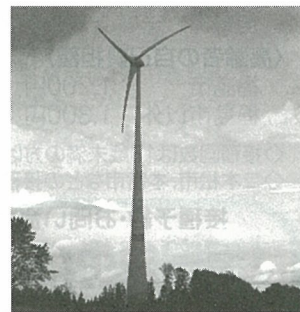


事故を起こしたチェルノブイリ原発4号炉の300m手前、ウクライナの外貨獲得の為に観光ツアーのコースになっている。オブジェも作られ私が立っている位置で空間線量が8～9μSv/h(1m程度)で、そこから手を伸ばしてみると10を楽に越える。地面近くは更に高い。

再生可能エネルギーを 電力とする村(ドイツ)

ドイツで最初に訪問した村は人口二千二人程の小さな村ですが、整然とした街並みと多くの花々に落ち着いた雰囲気を感じます。そこは使用電力の七〇%が再生可能エネルギーであり、七十年代に近くで起きた「原発計画」に反対した一人の農家の女性の

行つて下さい。二つ目は「高齢者の精神的支援が必要なこと」



農家の敷地内に近隣の農家で出資をして自らが立てた風力発電。中央の大企業の出資ではなく、近くの地元の会社でメンテナンスなどお願いし地域にお金が回る仕組みをきちんと考えている。どこへ行っても単に「エコな取組み」だけではなく、経済の話が全面に出ているのが印象的。

私たちの「何」が 事故後の対応を決めるの？

成功の理由は、住民自らが「賛成・反対」二つの視点で専門家と共に学習し、理解してきた事だと強調されました。

原発事故後の対応は、一方は「脱原発」を明確にし、一方「止めるのか止めないのか」明確ではありません。この違いは「何」なのでしょう。その違いを考え、行動し「福島で生きているのかな」と改めて考えた視察でした。

貴重な経験の機会をありがとうございました。

無料 法律相談会

- 日時
11月8日(木) 13:30～15:30
12月13日(木) 13:30～15:30
2013年1月10日(木) 13:30～15:30
- 場所 医療生協わたり病院内
事前申込制 Tel. 522-1236
- 相談員 深谷 拓弁護士(あぶくま法律事務所所属)

INFORMATION

これからの行事

11月～12月

どうぞご参加ください

福島医療生協 健康ウォーク

- ◆日時 11月11日(日) 9:00～12:00
- ◆場所 あづま総合運動公園サイクルスポーツ広場

チェルノブイリ視察報告学習会 (渡辺進放射線科長)

- ◆日時 11月17日(土) 13:30～
- ◆場所 もちずり学習センター

ミュージカル「おもひでぽろぽろ」

- ◆日時 11月25日(日) 12:45～
- ◆場所 バルセいいざか

齋藤紀医師講演会

【当面の日程】

- ・11月25日(日) 10:00～11:30
(保健福祉センター5階大会議室)
- ・11月27日(火) 18:30～20:00
(松川学習センター2階ホール)
- ・12月8日(土) 13:00～14:30
(信陵支所2階大会議室)
- ・12月11日(火) 18:30～20:00
(飯野学習センター2階ホール)

【問合せ・申込先】

福島市保健福祉センター 健康推進課
成人保健係 Tel.525-7680

保健師室 プレゼンツ

けんこう豆知識クイズ

正解者
5名様に
プレゼント!

第2回 好き嫌いを判断するところは脳のどの部分？

自己判断の最終決断するのは大脳新皮質で、脳のもっとも重要なところ。でも、その決断に影響を与えるところがあります。

- ◆問題 恋人と喧嘩して落ち込んだり、上司に叱られて不愉快になったり、不安になったりなど快不快を判断するのは脳のどこでしょうか？ 次の中から選んでください。

1.海馬

2.視床下部

3.扁桃体

- 第1回の答え ①ゆっくりと少しずつ足の指を甲の方に引っ張る
けいれんした筋肉を伸ばすことが肝心です。異常な筋収縮による血流障害が起こっているため冷やしてはいけません。予防法としてはストレッチや水分補給、筋肉が冷えすぎないようにするなどです。 <参考文献>「50歳からの健康歳時記」石川恭三著、Information PLAZA 宮川俊平 等

応募ありがとうございます 久保哲二さん、笠原富美子さん、今野葉子さん 景品をお贈りします。

応募あて先 福島医療生協 本部事務局 保健師室「けんこう豆知識クイズ 係」
応募締切り 12月17日(月) ※応募者多数の場合は抽選いたします。当選者は新年号に掲載します。



住所・電話番号・氏名
を忘れずにご記入
ください。